

杏林大学大学院保健学研究科 2020年度秋学期

「在学生による研究報告会」および「修了者による論文発表会・特定の課題についての研究報告会」

12月12日(土) 場所:B206マルチルーム

【在学生発表時間】 修士は報告10分、質疑7分(計17分)／博士は発表15分、質疑10分(計25分)

【修了者発表時間】 修士は発表15分、質疑10分(計25分)／博士は発表30分、質疑15分(計45分)

開始時間	修了	演者	分野	指導教員	題名	座長	
9:00- 9:05		岡島研究科長 開会の辞					
9:05-9:30	●	保修4S サカモト ユウタ 坂本 祐太	リハビリテーション科学	丹羽 正利	High-fat diet inhibits increase in the population of immunoglobulin A-bearing cells in the murine small intestine lamina propria. (高脂肪食はマウスの小腸粘膜固有層におけるIgA産生細胞の増加を抑制する)	田口晴彦	
9:30- 9:55	●	保修4S スズキ タカユキ 鈴木 堯之	リハビリテーション科学	八並 光信 橋立 博幸	internal focus of attention および external focus of attention に基づく言語教示が立位前方サーチ動作に及ぼす即時的影響の検証	跡見友章	
9:55- 10:20	●	保修4S タナベ タカユキ 田辺 貴幸	臨床工学	福長一義 中島 章夫	小児心臓手術時の人工心肺中における人工肺前圧力の予測に関する研究	岸野智則	
10:20-10:45	●	保修4S ノヂ ナツミ 野地 夏美	臨床検査・生命科学	島田厚良 大河戸光章	子宮頸部細胞診標本からmanual microdissectionによって採取した単一細胞のヒトパピローマウイルス感染状態に関する研究	相磯聡子	
10:45-11:10	●	保修4S ヤグラ ヨシヒサ 矢倉 義久	リハビリテーション科学	望月 秀樹	運動イメージの男女差に関する研究 — 一手の心的回転課題を使った遂行方略に関する男女差についての研究 —	竹田里江	
11:10-11:35	●	保修5S フクダ ミノリ 福田 実乃里	リハビリテーション科学	丹羽 正利	姿勢制御を担う固有背筋における運動ニューロンの形態学的研究	八並光信	
11:35-12:00	●	看修6S タキザワ カツラ 滝澤 桂	実践看護科学	加賀谷聡子	クリティカルケア領域における代理意思決定の特徴と看護支援に関する検討	松岡 恵	
12:00-12:25		保博3S マエダ スナオ 前田 直	リハビリテーション科学	近藤 知子	精神障害者の配偶者が抱える生活上の困難と支援ニーズおよび健康を保つ要因に関する質的研究	八並光信	
12:25-13:10	●	保博6S トビタ カズキ 飛田 和基	リハビリテーション科学	八並 光信 木村 雅彦	肺高血圧症患者における運動時肺循環動態を予測する指標に関する検討	柴田茂貴	